

備前市事務事業評価表

事務事業名	クリーンセンター備前維持管理事業	コード	01-01-14-08	担当課	環境課 衛生係
事業実施期間	平成10年度～		担当者	馬場 敬士	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	生活しやすいまちづくり			
	小項目	ごみ処理			
	施策	現有施設の延命化			
電話	64-1821				

事業について	
目的	燃えるごみ（一般廃棄物）について、ダイオキシン類・ばい煙等を排出基準以下で適正かつ効率的に焼却することにより、生活環境の保全につなげる。
対象 (誰のために)	燃えるごみ（一般廃棄物）の処理を必要とする、備前地域の市民・市内事業者
内容	適正かつ効率的に焼却するために施設の維持管理を行う。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
ごみ焼却処理量	7,443 t		
焼却灰発生量	968 t		
稼働日数	253 日		
改修工事費	68,250 千円		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	124,945	国県補助金等		直接事業費		国県補助金等		直接事業費		国県補助金等	
	人件費	31,473	受益者負担	1,087	人件費		受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	156,418	市債	155,331	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0

必要人員	5.20 人		
結果指標①	結果指標名	ごみ焼却処理量	
	結果指標量	7,443	
	単位	t	
	対前年比	—	0.00%
	事業費	156,132,000 円	
	単位当たりコスト①	20,977 円	

結果指標②	結果指標名	稼働日数	
	結果指標量	253	
	単位	日	
	対前年比	—	0.00%
	事業費	156,132,000 円	
	単位当たりコスト②	617,123 円	

事業の成果			
成果指標名	1日当たりのごみ焼却処理量	式又は説明	年間ごみ焼却処理量 / 稼働日数
成果指標量	29		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	25 t / 日	到達目標年度	平成27年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	関係法令等に基づき適正で効率的な焼却作業に努めている。将来的には、岡山県の備前ブロックごみ処理広域化計画があるが、現在、協議中である。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	ごみ焼却施設のクリーンセンター備前は施設の耐用年数が約15年であるが、稼働から8年を経過しているため、修繕工事に係る費用が年々増大している。現在休止中の第1清掃工場の解体が必要であるため、H18年度以後、多大な費用が必要である。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	ごみ処理の有料化（平成17年1月より）以降、ごみの焼却量は減少している。ごみの減量化・資源化を推進し、ごみ焼却量を減少することにより、焼却炉の消耗を抑え、施設の延命化を図る。
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価	ごみ焼却量の減量は、焼却炉の延命だけでなく、焼却のための燃料、薬剤等の減量につながり、費用削減にも有効である。既存の資源物回収（古紙類、ペットボトル）の充実、ビン類のコンテナ回収（H18.10月より）及び各地区における自主的な資源ごみ回収活動の支援等ごみの資源化によるごみの排出抑制を行う。	評価区分 <A~E> C
------	---	------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	7,200 t	結果指標量②	253
目標値 成果指標量	28 t / 日		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性			
効率性	焼却施設の計画的な維持補修	H18～	施設維持管理費のコスト削減
有効性	資源ごみ回収の充実	H18～	家庭ごみの排出抑制、資源物のリサイクル